

富津市図書館協議会 会議録

1 会議の名称	令和6年度第2回富津市図書館協議会
2 開催日時	令和6年10月30日（水） 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	富津市役所5階 502会議室
4 審議等事項	議題 （1）令和6年度事業の進捗について （2）図書館アンケート（案）について
5 出席者名	○出席委員 三浦貴子、平 順子、杉田玲子、永野弘子、米村志朗、 吉田侑季、伊藤隆男、矢上美知子 ○事務局 中山教育部長、篠田生涯学習課長、吉村社会教育係長、 網代主査 ○指定管理者（株）図書館流通センター 須藤図書館長、大河原チーフ、清水エリアマネージャー
6 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	2名（定員10名）
9 所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10 会議録 （発言の内容）	別紙のとおり

令和 6 年度第 2 回「富津市図書館協議会」会議録

発言者	発言内容
事務局 (篠田課長)	皆様、こんにちは。 委員の皆様方におかれましては、本日はご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 本日、会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の篠田です。よろしくお願いいたします。 それでは、会議前に担当より配布資料の確認をさせていただきます。
事務局 (吉村係長)	机上配付：次第、委員名簿、座席表 ・資 料 1 令和 6 年度図書館事業の進捗 ・資 料 2 富津市立図書館アンケート（案） ・参考資料 令和 5 年度年代別来館者数
事務局 (篠田課長)	[次第 1 開会] それでは、ただいまから、令和 6 年度第 2 回富津市図書館協議会を開会いたします。 はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。10 名の委員のうち、川口会長、長谷川委員におかれましては、本日欠席のご連絡をいただいておりますので、出席委員 8 名、欠席委員 2 名でございます。 従いまして、富津市立図書館条例施行規則第 20 条第 5 項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。 続きまして、会議の公開についてですが、2 名の傍聴者がおりますことをご報告させていただきます。 また、本協議会の議事進行につきましては、富津市立図書館条例施行規則第 20 条第 4 項の規定により、会長が議長となり進行をしていただくこととなっておりますが、本日は会長が欠席でございますので、同施行規則第 20 条第 3 項の規定により、杉田職務代理が議事の進行をさせていただきます。 それでは、はじめに、杉田職務代理からご挨拶をお願いいたします。
議長 (杉田職務代理)	[次第 2 会長あいさつ] 皆さん、こんにちは。 篠田課長からご説明があったとおり、本日は会長が急遽欠席というこ

	とで、会長職務代理という職を仰せつかっておりましたが、本日、その職務をさせていただく日が来ました。私はこのような役割は初めてのことでして、皆様のご協力なしには不安で、今日も緊張してだいぶ早く来ましたが、皆様のお力をお借りしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
事務局 (篠田課長)	ありがとうございました。 それではここからは、杉田職務代理に進行をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。
議長 (杉田職務代理)	それでは、ここからは私が議事進行を務めさせていただきます。 円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。 議題に入る前に、会議録署名人を指名させていただきます。 平委員と吉田委員をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 [次第3 議題] それでは、議題に入ります。 (1) 令和6年度事業の進捗について、事務局より説明を求めます。
事務局 (須藤館長)	それでは、議題(1) 令和6年度事業の進捗について説明させていただきます。 資料1をご覧ください。 アンダーラインが引かれている部分が、前回からの追加事項となっております。 まず1番、「おはなし会」ですが、6月以降は4回開催しております、4月からの合計で234名の方に参加をいただいております。毎月平均で40名ほどが参加されているという形になっています。 2番、「おはなし会スペシャル」ですが、こちらは年2回、大きなおはなし会を開催しようということで計画させていただいております、来月の11月3日の日曜日に、映画の上映会で男性スタッフが中心となり、「お兄さんのおはなし話」という形で男性スタッフによる本の読み聞かせを考えております。図書館スタッフは女性が多く、また、ボランティアの方も女性が多いんですが、男性がやるのはなかなか珍しい催し物になると。先日、野田市で同様のイベントが行われまして、そのイベントに市立図書館の男性スタッフが2名参加して実体験もしてきましたの

で、その成果をこの会で発表したいと考えているところでございます。また 4 月以降、紙芝居ボランティア団体「ありの実」さんの紙芝居も含めて、合計 136 名の参加、毎月平均で 25 名近くの参加をいただいております。

3 番、「はじめてのおはなし会」ですが、これは本当に小さいお子様向けのおはなし会になります。こちらも 4 月から合わせまして 120 名の参加という形になっています。去年は平均 16 名の参加で、今年度は平均 20 名参加をいただいております。

4 番、「職場体験学習の受入れ」ですが、ちば南部地域若者サポートステーションの方の職場体験ということで、1 週間ほど 1 名の方を受入れておりまして、また、イオンの 1 階にあります「放課後デイサービス ウィズユー」の図書館お仕事体験という形で、1 回に 7 名から 8 名の方を受入れて月 2 回開催させていただいておりますので、4 月から延べ 79 名の参加をいただいております、毎月平均 15 名の参加をいただいているという実績になっております。

5 番、「図書館見学の受け入れ」ですが、去年は全部で 11 校、計 18 回の開催で月平均 45 名の参加をいただいておりますが、今年度につきましては既に半年で 12 施設の 12 回開催で 357 名の参加をいただいております。月平均で 60 名になりますので、昨年比較で 15 名増となっております。

6 番、「富津からひらく」ですが、こちらはおすすめの本を市民等から募集しまして、館内でその本を紹介するというものになりますけれども、昨年度は 33 名の方からおすすめの本を紹介いただきまして、今年度は現在で 42 名の方から推薦いただいております、その推薦本を但し書きとともに展示させていただいております。こちらは非常に人気がありまして、約 3 分の 2 が借りられているというような状況になっております。

7 番、「パスファインダー」ですが、こちらは 1 テーマ 1 枚になるような図書館の情報を集めてリーフレットという形で、6 月 1 日からシニアライフに関するパスファインダーを作成しまして図書館の中のオレンジコーナーと一緒に掲示させていただいております。こちらは自由にお持ち帰りできるようになっております。

8 番、「図書館だよりの発行」ですが、昨年度は広報の図書館だよりの形で一般向けの図書館だよりを奇数月に発行していましたが、今年度から「絵本のおたより」というのが、0～2 歳用と 3～5 歳用という形でそれぞれ 4 月に発行させていただいております。それから小学生の低学年、中学年、高学年向けという形で 4 月と 7 月に 2 回発行させていた

だいております。一般向けは、5月、7月、9月、ティーンズ向けという形で5月に発行をしております。内容としては世代のニーズに合わせた本の紹介をさせていただいております。先ほど“シニアに関するパスファインダー”も紹介させていただきましたが、全ての世代に対しまして図書館の刊行物を提供させていただいているという形になります。

2ページをご覧ください。

9番、「はじめての工作教室」ですが、今年の1月からスタートした小さいお子様向けの工作教室になりますが、昨年度は1～3月で平均10名の参加をいただいておりますが、今年度4月以降は平均25名ということで約2.5倍増となっております。

10番、少し対象年齢が上がって小学生以下が対象になります「わくわく工作教室」については、現在2か月に1回開催させていただいておりますが、工作内容とか難易度に応じて募集人数が6名であったり10名であったり20名であったりというところがありますので、実績人数がバラバラになっておりますが、毎回定員以上の参加をいただいているという状況になっております。

11番、先ほどの“わくわく工作教室”が偶数月で、奇数月には「よいこの映画会」ということで、おはなしの部屋で短編映画の上映を行っております。“はらぺこあおむし”ですとか本の名作といったものを必ず入れて、子ども達が喜ぶような映画を合わせて2～3本上映させていただいております。月平均15名ぐらいの参加となっております。

12番、「高齢者向け講座」ですが、当初は認知症で何か悩んでいる方々の交流の場という形で開催しておりましたが、認知症の関係の方だけではなく、お一人で住まれている方でなかなか近所で会話をする機会がない方ですとか、富津に引っ越されてきた方で近所に知人がいないので情報が取れないということで参加されたりですとか、高齢者向けというよりは、様々な方々の交流の場という形で徐々に変わってきております。参加人数は最大6名、最少2名となっておりますが、10月は10名参加をいただいております、ようやく皆さんに広まってきたのかなと考えております。

13～16番については、第1回会議で報告した内容と変更はございませんので割愛させていただきます。

17番、「図書館HP・SNSの活用」ですが、6月から9月の更新については大体月20回、それぞれX（エックス）、インスタグラム、ホームページ等を更新しております。やはりSNSは常に最新の情報を提供し続けるということが大切ですので、担当スタッフが勤務した際には必ず更新

という形で月 20 回の実績となっております。

18 番、「団体貸出（学級文庫）」については、全部で 5 校が対象となっており合計 680 冊の貸出を行わせていただいております。

19 番、通常のスポット的な「団体貸出」ですが、昨年度は 1 年間で 21 団体 1,016 冊の貸出がございましたが、今年度は 9 月末で 26 団体 1,516 冊と半年で昨年の実績を上回っております。

20 番は前回報告をしておりますので割愛させていただきます。

21 番、「読書活動の推進」ということで、特別、一般、ティーンズ、児童というジャンルで毎月 30 を超える企画展示を図書館の中で行っておりまして、そのうちの約半数を毎月入替しております。

続きまして 4 ページをご覧ください。

ここからは期間事業になります。

1 番の「開館 1 周年記念イベント」は前回報告のとおりです。

2 番、「ぬいぐるみのおとまりかい」ですが、先週 26 日から 27 日で 15 名のお子様からぬいぐるみをお預かりしまして、おはなし会とともにぬいぐるみ達が集まって会話をしているとか遊んでいるとか状況を写真に撮ってアルバムにしてお子様に返すという形で実施しております。非常に人気のあるイベントで定員 15 名はあっという間に埋まってしまうという状況ですので、時期を見ながらお子様達に人気のあるイベントはどんどん提供していきたいと考えております。

3 番ですが、夏休みのイベントとしまして「夏休み子ども図書館員」ということで定員 3 名程度で実施しましたが、こちらもあっという間に枠が埋まってしまうしまして、10 名に拡大し、かつ 2 チームに分けて対応させていただきました。仕事の内容を学んでもらうという形で、最後はお子様の方から自分が薦めたい本を選んでもらって、そのポップを作ってもらい、特別コーナーを作りまして、そこに展示をしてもらいました。参加したお子様からアンケートをとったところ、全員から“また参加したい”という声をいただいております。私も前職が茂原市の図書館長だったんですが、こういうイベントに参加したお子さんが、十数年後に図書館スタッフとして働いているといったこともありましたので、このような経験が子どもの職業選択の一つになっているかと思うと、こういったところにも図書館の力を注いでいかなければいけないなと思っております。

4 番、「七夕星空映画会」ですが、7 月 7 日の七夕に合わせて、プラネタリウムプロジェクターを借りて星空観賞と“おしり探偵コズミックフロント”という星に関する映画を上映させていただきました。こちらはプ

ラネタリウムの映写範囲の関係で 70 名程度と定員の設定をしておりましたが、開始 2 分ほどで 100 名を超える方が集まってくださいます、また、ベビーカーを引いた方も 2～3 名ほどいらっしゃいます、ベビーカー置き場とか考慮しておりませんでしたので、開始前にバタバタしてしまったという反省点もあるのですが、それでもプラネタリウムは 2 回上映させていただいて非常に人気のあったイベントになりました。

5 番、「図書館探検ツアー」ですが、先ほどの“夏休み子ども図書館員”が 2 時間という時間をかけて図書館の仕事を学んでもらうという形ですが、こちらはご家族とお子さんと一緒に図書館のバックヤードツアーのようなものを体験してもらおうという形になります。最初に紙芝居を見て図書館のルールを学んでいただいて、コピー機の前で図書館でのコピーの仕方であるとかルールであるとかそういったことを学んでもらう、それから名札を皆さんにお配りして、そこに本の請求記号を書いてもらい、その本を探して来てもらって、最後にそれをご家族の方と一緒に図書館に出て行って飾ってもらうという形で実施しました。こちらの方も非常に人気があったと感じております。

6 番、「本の福袋」ですが、10 月 27 日から全部で 70 袋用意しまして開催しております。3 日経っているところですが、既にもう 3 分の 2 は借りられてしまっていて、ティーンズが多く残っている状況です。次の議題のアンケートでも出てきますが、やはり図書館の特性でティーンズの方の利用が少ないところがあると思いますので、ここのテコ入れでアンケート（案）も含めて皆さんのご意見をいただければと考えております。

7 番、「つくろ。まなぼ。あそぼ。」ですが、6 月以降、富津図書館寄席と題して、落語家さんや音楽パフォーマーの方々などをお呼びして、月 1 回、日本の伝統文化芸能の発信拠点としてこのようなイベントを開催しております。毎回 50 名近い参加をいただいております、特に落語は非常に人気がありまして、演者さんも 6 月の“林家なな子さん”は来年の 9 月に真打昇進が決まり、8 月の“古今亭始さん”は今年の 9 月に真打に昇進されまして、お 2 人ともかなりレベルの高い落語を披露していただいております。

8 番、「図書館アンケート」については次の議題で詳細な説明をさせていただきます。

5 ページをご覧ください。

9 番、「大人のおはなし会」ですが、昨年度はやはり子ども向けのイベントを多く開催させていただいておりました。今年度は一般向けも徐々

に増やしていくということで、先ほどの寄席ですとか、この「大人のおはなし会」など大人向けのイベントを多く開催させていただいております。なかなか周知が行き届いていない部分もあり、大体 6 名ぐらいの参加になっておりますが、参加された方はリピートしていただいておりますので、広報の方法を考えながら広めていければと考えております。

10 番、「大人のひろば」ですが、市民の方でいろいろ技術・特技を持っている方がいらっしゃいますので、そういった方々を募集して、その方が講師となって趣味や特技を伝えるということで、8 月に第 1 回目を、手ぬぐいを使った巾着袋作りを行いました。アンケート結果を見ますと、“こういった大人向けのイベントを待っていました”という意見が結構ありましたので、今後もこういったイベントを続けていきたいと考えております。

11 番から 15 番については、夏休み特別イベントという形になっています。夏休み期間、お子様になるべく足を運んでもらおうと実施したイベントになります。目標を達成した方々にスタッフ手作りの景品を渡すという形で実施させていただきました。予定に対し目標未達成の部分もありますけれども、多くの方々に利用していただけたのかなと考えております。

6 ページをご覧ください。

その他ということで研修や視察など実施しておりますのでご説明させていただきます。

1 番、「富津市新人職員図書館視察」ですが、富津市の新規採用職員約 30 名の方に図書館の説明と館内の見学をしてもらうとともに、図書貸出券をまだ作っていない職員につきましてはその場で作ってもらいました。

2 番、「図書館を使った調べる学習コンクール説明会」ですが、来年あたりには、図書館を使った“調べる学習コンクール”を富津でも開催したいと考えておまして、開催に当たり図書館スタッフがどのような準備や心持ちで臨んだらいいのかということで、実績のある八千代市立中央図書館の館長と担当 1 名を講師としてお呼びし説明を受けました。

3 番、「富津市教育センター主催夏季教員研修」ですが、7 月 24 日の夏休み期間に市内教員 40 名の方に集まいただき、図書館の説明を行いました。また、図書館が学校向けに実施している事業ですとか、こちらから連携をお願いしたいことも含めて教員の方々に聞いていただきました。

4 番、「図書館流通センター優秀スタッフ選出」ですが、図書館流通セ

ンターには全国で約 9,000 名の図書館スタッフがありますが、そのスタッフの中から 80 名を選抜しまして、その年の優秀スタッフとして表彰するものです。9,000 名の中から 80 名ということで、わずか 1 %未満の狭き門ですが、富津から今年 1 名が選定されまして、昨年から 2 年連続で優秀スタッフを選出させていただいております。

5 番、「こどもと本を結ぶ会総会」に私が出席させていただきまして、“市立図書館のこれまでとこれから”ということで、昨年度の実績数字をベースにお話をさせていただき、また、これから私が思い描く理想の図書館みたいな形でお話をさせていただいております。

6 番、「国立国会図書館 国際こども図書館視察」ですが、休館日にスタッフ全員で視察研修を行いました。国際こども図書館のおはなし会のやり方とかをお聞きしまして、面白いなと思ったのは、子ども 1 名に対し必ずご家族が 1 名付いて、子どもが 3 名いる場合は兄弟含めて 3 名でお子さんを見る事にしてくださいという形になっています。お子さんが声を出したりした時の“しつけ”ですとか、ご家族にもお子様に対する本の読み聞かせのやり方を学んでもらいたいという思いのこもったおはなし会になっておりました。確かにお子さんのみでおはなし会に参加される形も多いですが、やはり、おはなしの仕方をご両親に見ていただいてご家庭で読み聞かせをしてもらおうきっかけになればと考えております。

続きまして、7 ページをご覧ください。

今後の新事業等になります。

1 番、「ハロウィンイベント」ですが、10 月 27 日の日曜日に 25 名ずつ 2 回に分けて、お子さんに図書館に来ていただいて、合言葉“トリックオアトリート”ではなくて、“コウモリ”とかそんな合言葉がいろいろありまして、言ってくれたお子さんにちょっとしたお菓子をプレゼントするというイベントです。これはイオンモール専門店街で協力して実施したもので、図書館も参加させていただきました。

2 番、「郷土かるた展示」ですが、11 月から 12 月にかけて図書館及び富津ギャラリー（3 階トイレの方に向かう通路の壁）に富津市、野田市それから船橋市の 3 市それぞれの市の郷土かるたを展示して、また郷土の紹介もするという形で展示をしていくものです。昨年も実施させていただきましたが、今年は新たに船橋が参加し、毎年少しずつ増えていくような形になっております。

3 番、「新春特別興行 富津図書館寄席」ですが、1 月 2 日に真打 3 名と色物が 1 名という形で、ベテラン真打の方に来ていただいて特別寄席を開催いたします。古今亭志ん丸師匠につきましては獅子舞を披露して

	いただく予定となっています。 4 番、「バリアフリー映画会」ですが、1 月 25 日土曜日に“じんじん”という作品を上映する映画会を開催します。こちらは目の見えない方、見えにくい方、耳が聞こえない方、聞こえにくい方など、どなたでも映画が楽しめるよう字幕付きの映画という形になっております。 5 番、「開館 2 周年記念イベント」ですが、日程のみ決まっております。3 月 21 日金曜日から 4 月 6 日日曜日まで開催させていただきます。図書館としましては、2 周年記念の図書配布バックを大体 1,000 名様に配る予定です。それから記念寄席を 100 名規模で開催したいと考えております。現在、2 周年記念ロゴを作成中でございます。 図書館事業については以上でございます。
事務局 (吉村係長)	続きまして、生涯学習課からも事業進捗と本日配布しました追加資料について説明させていただきます。 はじめに、前回の会議でお伝えしたとおり、図書施設における図書の個人貸出冊数の上限について、今月（10 月 1 日）から上限を 6 冊から 10 冊以内まで拡大いたしました。 次に、図書の返却ポストですが、市民会館の玄関フード内に返却ポストを設置しました。こちらは屋内用ポストなので、施設が閉館している時は利用ができませんが、開館時は事務室まで行かなくても玄関で返却できるようになりましたということで、2 点ご報告となります。 次に、本日、机上配付させていただいた参考資料についてですが、前回会議でご意見をいただきまして、年代別で図書館の来館者数、貸出券登録者数、図書貸出人数・冊数の統計を作成しました。1 ページの年代別来館者は、図書館のエントランス付近に設置している AI カメラによる診断・測定データでございますので、参考数値として見ていただければと思います。男性では 50 歳代の来館者が多く、女性では 30 歳代の来館が多くなっており、性別関係なく合計では、40 歳代の来館が最も多いというようなデータとなっております。 次に裏面の 2 ページをご覧くださいまして、年代別の登録者数、貸出人数と冊数の延べの統計ということで、こちらは図書システムから抽出した実データとなります。年代区分の欄の下にカッコ書きで数字を入れておりますが、これは参考として、その年代の住民基本登録台帳の人数を記載しています。全体を通してみると、中高生から 20 歳前後の世代の利用が特に少ない傾向となっており、年代が高くなるにつれて、利用は多くなっておりますが、人口当たりの率で比較すると、子どもの方が利

	用率が高いというようなデータとなっております。 今後も継続してこのようなデータを収集・分析しながら傾向をつかみまして、事業・イベント等の企画の参考にしていきたいと考えております。 説明は以上となります。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございました。 事務局からの説明が終わりました。 委員の皆さん、ご質疑等ございますか。 米村委員、どうぞ。
米村委員	やはり子どものイベントがこうやって列挙されますと豊かだなと思います。これと連動するのでしょうけど、同等な来館者数、イオンに入った時に食料品のエリアはやはり人が多いけど、図書館まで上がって来るのかというと、せっかくイベントを企画してやっているから、イオンの協力が必要なのでしょうけど、電子版で今日は何をやっているのか、来月は何があるのかとか、市も予算化して、私は常々言っているのですが、図書館の対応は特に女性の対応ですとか抜群にいいなと思っていて、頑張ってくれているなと思いますけど、図書館を全く知らずに育った方々に図書館の魅力を知ってもらうためには、同じ一生の終わり方もあるんでしょうけど、これだけ魅力があるということを一生懸命に発信されていますけど、そういう方々にはなかなか届きにくいから、何かラーメンを買いに行くついでに寄っていただいていいわけなんだけど、このアンケート（案）もいろいろ工夫されて、A4用紙1枚で工夫されているのは本当によく分かるんですけど、食料品を買いに来た人に図書館に寄ってもらうって言ったらおかしいけど、3階まで上がっていただく工夫というか、いろんな手段はありますが、来た人とにかく周知する、3階に図書館がありますという大きな表現はそれなりに効果が上がって来ているのでしょうけど、もっとアピールできるというか、今日はこういうイベントをやっている、私も1回行きましたけど、面白い催しがやっているのに、それを知る手段が、世代が上のデジタル化に縁遠かった人たちに何とか調べられる、そういうパンフレットとかの予算化というのは折半なのか富津市が100%負担なのか、館長も苦勞されているんじゃないかと思うんですけど、そういうものがあつた方が絶対いいと思います。

事務局 (須藤館長)	イベントの周知については、今月行われたイオンと図書館との定例会で話をしまして、これまではイオンの施設、例えばコミュニティホールとかそういったところを使ったイベントについての広告は、イオン側でも出していただいていたのですが、これからは図書館の中だけで行うイベント、「おはなし会」ですとか「工作教室」とか、そういうイベント告知についても、イオンさんをお願いして了解をいただいたところです。 11月以降は小さいイベントも含めまして、全てイオンさんの1階から、いろんな箇所に掲示をしていただける予定となっております。
米村委員	何を掲示するのですか。
事務局 (須藤館長)	イオンモール富津の1階にある大きなイベントポスター等に、イベント毎に時間とか場所、それからどんなものを作りますとか、「おはなし会」を行いますとか、今までは図書館の中のイベントは一切告知がなかったのですが、それをイオンさんの掲示板のところに全て掲示をしていただけるということになりました。少しこれで様子を見ていければと考えております。
米村委員	要するに、紙媒体への依存ですか。
事務局 (須藤館長)	電子媒体でのイベント周知については、既にイオンさんのホームページ等の中には全て入れていただいております。イオンモールに来ている方々の目に留まり、図書館まで来てもらえるように、興味を持ってもらえるようにそういったポスター告知をしていきたいと考えております。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 他にも、こんなことをしたらいいんじゃないかとかありましたら、是非お話いただければと思いますが如何でしょうか。 吉田委員、どうぞ。
吉田委員	特にこういうことをしてほしいとかではないのですが、期間事業の12番の夏休限定「スタンプカード」ですが、小学生以下限定という括りで図書館に来た子ども達にスタンプをとということなんですが、小学生以下に限定をしてしまうと、私は住まいが金谷なんですけど、どうしても親が送って行って何か用事を済ませたついで、逆も然りですけど、図書館に行ったら買い物、買い物したら図書館とか、そういった紐づけをし

	ないとなかなか行けないのが現状で、せっかく市民会館とか図書館以外にも図書室があるので、子どもの足で行ける図書室にも紐付けして、毎回そこじゃなくても、5回に1回は図書室に行って5回に4回は図書館とか、なんかちょっと選べる本の裾野を広げる方の、子ども達が選べる、今日はこっちに行きたいなとか今日は図書館に行きたいなとか、せっかくあるものをうまく一緒に活用してもらえたら富津市の子ども達の本に対する親しみが増えるのかなと思ったことが一つです。 それから、市民会館に先ほど返却ボックスをというお話があったんですけど、月曜日が市民会館が閉館していることを忘れてしまって、本だけ返しに行こうと思ったら、ちょうど返却ボックスが玄関に設置されていたのでとても助かりました。ですので、返却ボックスの設置を知らない方もまだ多いと思いますので、その周知をお願いできたらなと思います。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 ただいまのご意見に対して事務局は如何ですか。
事務局 (須藤館長)	「スタンプカード」につきましては、今回試験的に行わせていただきまして、景品がスタッフ手作りのため、なかなか数が多く作れなくて限定200という形にさせていただきました。また、それを各公民館とかに置くのも、公民館職員の手間が増えるということが懸念されましたので、皆さんのニーズを探る意味でもまずは図書館でという形で実施させていただきました。実際は大人の方からも“大人向けの読書通帳はないのか”、“スタンプはいらないからそういったものを作ってほしい”という要望などいろいろありました。こういったご意見を参考に次も考えておりますので、またその際はご意見を聞かせていただければと思いますのでよろしく願いいたします。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 他に如何ですか。 矢上委員、どうぞ。
矢上委員	こどもと本を結ぶ会の総会に須藤館長さんに来ていただいて、お話いただいたので大変近い感じがして良かったなと思っています。それから貸出冊数も10冊にさせていただいて早速利用させていただきました。本当に助かっています。

以前に図書館の検索機の机の高さのことを指摘させていただきましたが、椅子が1か所設置されていて、その他の2か所はまだ未設置のようで今後どうなるのかと待っていますが、やはり座って操作させていただいたのでとても楽に検索させていただきました。

それから返却ポストの話が出たので、中央公民館にもできれば屋外に設置していただければありがたいかなと思います。市民会館は屋内なので月曜日しか利用できない、まあ地域にあればいいですけど。イオンにも3階まで行ってほしいというお話もありましたが、やはり急いでいる時とかやっぱり1階にあればと思います。どのように上の階に行かせるかというご苦労をされているかと思いますが、1階にも設置されていて、この中に図書館があるよと図書館の名前をしっかりと書いたものを置けば、それも宣伝になるのかなと思いました。

それからイベントのことですが、やはり私はイオンに来てほしいと、図書館に来てほしいのかイオンに来てほしいのか、何かイベントが多すぎて忙しいなという思いもあるのですが、皆さんいろんな思いがあると思います。イベントの場所のことですが、これだけの人が集まる、どの場所がやっているのか、いろんな場所によって違うのかなと思っていたのが一つと、今度、「よいこの映画会」というイベントが、月曜日だから参加する子どもは少ないのかもしれないですけど、おはなしの部屋の中で映画会をやるとなると、30分ぐらい借りるのは遠慮してくださいみたいな、文章があるみたいな雰囲気になってしまう。例えば、おはなし会をしていても借りに来たって私はいいと思うんですけど、映画会がどういうものなのか良くわかりませんが、場所の問題というのは、あの中でやると音声だと違う場所でやってらっしゃると思うんですけど、やっぱり図書館というものを、館内があまり広くないので、図書館の中というものを大事にしてほしいなと思っています。先日、「大人のおはなし会」に参加して、私はおはなし会をしてもらおうのかと思っていたら、ちょっといろんなお話がいっぱいできて、何かお話の説明とか、それから桃太郎のお話だろうね、本当にこういうのがあって言って、それから小説になってる桃太郎の紹介とか、あと私はおはなし会として聞きたかったんですけど、その後に懇談会とか懇親会みたいのをやって、それが図書館の中でやっているのがちょっと私は心苦しくて、話し合いまでいいですけど館外でも懇談はできるし、どうなのかなという、場所の問題は図書館は図書館としてっていうのがいいかなって私は思っています。

それからもう一つ、“ひとはこ館長”をやらせていただいたのですが、資料に記載がなかったので、これがないのかなと思ってちょっと寂しい

	感じですね。
事務局 (須藤館長)	ただいま矢上委員からいろいろとご意見をいただきましたけれども、まず、イオン1階へのブックポストについては、ちょっと検討しているのはTSUTAYAさんの返却ボックスが外にあると思うんですが、あれをうまく活用できないか、共用できないかとか、そんなことをTSUTAYAさんの方に話しかけをさせていただいております。実現できるかどうかはまだ分かりませんが、まずはそういったところを相談させてもらっております。 それから、「大人のおはなし会」ですが、こちら申し訳ありませんが試行錯誤をしながらですので、終わった後にどうしても参加された方が流れで周りで話を始めてしまったりというところもあったので、そういった場もちゃんと時間を設けてやってもらった方がいいんじゃないか、皆さんで感想を言い合うとか、そういったこともコミュニケーション作りの一つになると思いますので、やはり図書館は本を提供するだけではなくて、いろんな方とコミュニケーションができる場の提供業務も図書館のミッションだと思いますので、そういったところで、やり方はいろいろあると思うのですけれども、試行錯誤させていただいているところでございます。 それから「ひとはこ図書館」については、第3回会議では確実に事業として載せさせていただきますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。
事務局 (吉村係長)	公民館図書室の関係で先ほどの吉田委員からのご意見も含めまして、まず、図書室全般の周知・広報に関しまして、まだまだ不足しているということで、様々な媒体を活用して積極的に行っていきたいと思います。 それから、屋外返却ポストの設置というところですが、以前からご要望等はいただいております、生涯学習課でも検討はしているところではございます。ただ、どうしても屋外型ですと高額なものになりまして予算的な部分に関係してきますので、現時点では新たに設置する予定はないという回答となります。ですが、公民館図書室については、市立図書館整備基本計画の中で、図書館の分館として、地域に密着した図書サービスを行う施設として取扱うと定めておりますので、引き続き、利用促進、また環境整備に努めてまいりたいと思っております。

議長 (杉田職務代理)	ありがとうございました。 米村委員と矢上委員のご意見を伺うと、お二人とも共通してるところは、まだまだ図書館というところを広めなきゃ、知らせめなきゃいけないというところで、返却ボックスをイオンの1階に置くにしても、しっかり“富津市立図書館”という名前を大きく掲げて、上の階に行っていたきたいという意図があったとしても、やっぱりイオンに立ち寄ったらその名前を目にするだけで違うんじゃないかなっていうことを強く感じました。 米村委員がなんとかして、広く皆さんにどういった手段・方法をとったっていうことを投げかけてくださったので、そのところは今日はお二人の意見が共通されているんじゃないかなと感じました。 TSUTAYA さんとのお話ですが、何とかうまくいきますように、そして最後に申し上げたように、富津市立図書館の名前をしっかりといろんな方が目にできるようなということを心がけていただきたいと私個人では思いました。 よろしく願いいたします。 それでは他に何かご意見はありませんか。 学校関係で如何でしょうか。 三浦委員、どうぞ。
三浦委員	吉野小学校の三浦と申します。 前回もお話させていただきましたが、たくさんのイベントをやってくださっていて、保護者の交通手段は様々ですけれども、行ける子ども達はイベントのチラシをよく見て行っているということで大変感謝しています。 また学校の職員が授業で“こんな本が使いたい”とか、“今度こんなことやるんですけど参考になる本ありますか”っていうことを窓口で相談すると、すぐに揃えてくれてお届けくださったりお電話くださったりと大変助かっております。吉野小学校は図書館に集団で行ったこととして記載はしてありませんが、個々に職員とか子ども達とか、放課後や仕事が終わった後にお邪魔しておりまして大変助かっております。 ありがとうございます。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 平委員、如何でしょうか。

平委員	参考資料に令和５年度の貸出人数とか登録者数がありますけど、感覚的には昨年より今年の方がたくさん図書館に人がいるなっていう感じがすごくします。それから図書館の職員の方々が温かいですね。すごく声かけをしてくださって、声かけというか読書している人の邪魔をするのではなくて、本を返却に行けばそれを見て“ありがとうございます”と一言声をかけてくれたりとか、図書館の中に行けばいろんな企画展が、ここにも載っていますけど、随時いろいろ変わっていて、とても借りやすく、自分の興味と違うものがあるって、図書館自体はすごく２年目で変わっていてありがたいなと思いました。 先ほど杉田委員がおっしゃったように、イオンの中に行けば、３階に行けばすごく図書館がいいものだなっていうのが分かるなって、そこに行くまでの間を何とか引っ張りたいのと、去年よりは今年の方がすごく良くなっているなと肌で感じていて、勝負は３年目、来年がどうなのかと、せっかく図書館の利用が便利だなって分かった方々にそのまま継続してくださるような方法を考えていかなきゃいけないのかなと。 本当に図書館職員の方々が、自分の気持ちのせいもあるのでしょうか、すごく温かい感じが私はしています。素敵だなって感謝を申し上げるぐらいでありがたいなと思いました。以上です。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 伊藤委員は如何でしょうか。 イオンということでしたら、この会では一番イオンの中に長くいらっしゃるかもしれないと思うんですが、何かご意見いただければありがたいなと思います。
伊藤委員	この参考資料の数字からしか分からないのですが、小学生や中学生というのは、単独とか友達同士だけでは図書館に行ってはいけないのでしょうか。 その辺は如何なののでしょうか。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 “行ってはいけない”というのは、交通手段とかそういう面で行けないということでしょうか。いろいろな捉え方ができると思うのですが。
伊藤委員	数字が非常に少ないので、０歳から逆に言うと３０歳以上が来館者数も貸出人数も７０％です。小学生、中学生、１０代社会人の方も含めてですけ

	れども、3割ぐらいしかいないのですけれども、小学生や中学生は必ず家族と行かないといけないのでしょうか。数字からしか読み取れないので、なぜ少ないのかなってというのが感想です。それはイオンモールとか地域の慣習とか、なぜ少ないのかがよく分からないんです。 それから小中学校の図書室の現状もよく分からない。学校で本が充実していて簡単に借りられるのであれば、わざわざ図書館に行く必要もないですし、その辺の関係がよく分からないです。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 それでは、平委員がいらっしゃいますので、学校の図書室の現状についてご説明いただければと思いますが如何でしょうか。
平委員	学校の図書室の状況ということで、私は読書支援員として今年3年目になりますけど、おそらく、子ども達は読書支援員が入る前より本をたくさん借りているんじゃないかなと感じております。学校図書館の図書が整備されてきておりますが、予算に限りがあるので図書館のような新書は少ないです。ただ、学校にある本を利用している率は年々増加していると思います。ですから、子ども達が本を読んでいるかというところとそんなことはなくて、富津市は読書教育に力を入れていると思いますし、学校の先生方も前向きにやっております。あとは、やはり図書館までの交通手段ですね。図書館近辺の子ども達は自分で行けるけれども、離れている子ども達はなかなか自分達だけでは行けないので、それが減少の要因の一つではないのかなという気はします。学校としては、確かに図書館に行けばたくさん良い本があるのでありがたいです。学校には古い本がたくさんありますが、子ども達はその本を一生懸命読んでいます。
議長 (杉田職務代理)	伊藤委員、如何でしょうか。 ご意見を伺っていて、図書館へ行くための手段ってところで提案してくださって、それについても検討していかなければならないかなって思いましたけど。
伊藤委員	事務局にお伺いしたいのですけれども、この参考資料の数字、令和5年度とありますから今年の3月までの数字なのか。 それから他の公民館とか他の場所での実績は全く含まれていないのでしょうか。

事務局 (須藤館長)	来館者数につきましては、昨年度、昨年4月から今年3月までの図書館への来館者のみの数字になります。
米村委員	AIカメラの数値、参考数値としてご覧くださいと書いてありますね。子どもも今大きくなっているから、AIも勘違いして大人にカウントしたということもあるかもしれませんが、先ほど須藤館長のご報告にもあったように、子どもへのイベントが非常に多いですね。小中学生を含めて、それがプラス思考になれば、図書館へわざわざ行くという足を考える必要がなくなってきたというか、そういうプラス効果もすごく出ているんじゃないでしょうか。ただ、それを上回るほど子どもが減少しているというのも、バックグラウンドとしてあるのでしょうか。
矢上委員	先ほど学校の読書支援員さんのお話があったので、そちらについてもよろしいですか。 やっぱり中高生はスポーツに夢中になったりとかもするので本離れしています。だから学校で本を読むっていう指導というか経験ってものすごく大きいと思うんですね。だから読書支援員さんが来てくれたことはものすごく大きいとっていて、人がいる図書館って温かさが全然違うと思うんです。だから私はものすごくありがたい話だなと思っているんですけど、図書館にはやっぱり児童書もすごく新しいのが揃っているの、学校も図書館から借りて披露するっていう形を大いにしてほしいなと思っているのと、読書支援員の勤務は1つの学校に週1日だけですよ。1週間に1日で何ができるのかなって心配をされていて、1週間で1日行ったところで本当に子ども達と何ができるのか、整理でいっぱいなんじゃないかとかいろいろ心配をしております。 先ほどおっしゃったように、絶対に車を使わないと富津市なんて行けないわけなので、学校はやっぱりとても大事な場所なので、その学校の読書支援員さんの力って、もっともっと借りたいので、何とか週1日ではなくて増やして、そこの関係で“お母さん図書館まで連れて行って”という話になれた方がいいんじゃないかなと私は思いました。
三浦委員	矢上委員に関連してよろしいですか。 実は読書支援員さんが3年前から来られて、それまでは各学校に読書ボランティアさんがいて、本校にも「絵本の森」さんがいて、その方たちが時間を見つけて学校に来て図書室の環境を整えてくれたり、また職員で放課後に環境を整えたり、または市にお願いして新しいものを買っ

	ていただいたりして、とにかく図書室が学校図書館として機能するように整備をしていました。 今、読書支援員さんが3年間来てくださっていて、来ている時は本当に子ども達にお薦めの本を紹介してくださったり、いっぱいお話をしていただいたり、授業の中にも入って読み聞かせをしてくださいます。今日も先ほどまでお昼も食べないでずっと学校にいてくださったんですけど、先生方が困っていれば、“こんな本ありますよ”、“この本で授業やってみてください”とか、“この本をシリーズで欲しいんです”と伝えれば、図書室の本をかき集めたりして準備していただいたりとか本当にありがたいです。学校はここ数年は図書室の整備を本当に力を入れてやってきました。ただ人員としては、週1回で今年は少し時間を増やしてもらって多く来てもらっているんですけども、矢上委員が言うてくださるように本当は毎日来ていただきたいぐらいです。ただ、今は週1回ですけども、その効果は出ていまして図書室に行く子ども達が莫大に増えました。朝登校してきて図書室にいたりとか、休み時間に外で体を動かす子もいれば、じっくり本を読みたい子は図書室に行ったり、授業の中で調べ学習をしていけば、“この本を調べたい”と図書室に質問に行ったり、学校の図書室は先ほど伊藤委員が質問しておりましたが、図書室の機能はずいぶん良くなっていると思います。学校の図書室にある図書、今は学校図書館と言っておりますが、学校図書館にある図書はやはり限られています。古い本もありますし、新書も少しずつ買ってもらってはおりますが、そんなにたくさんはありません。けれども、古い本でも読んでもらいたいから環境を変えて、机を動かして円卓にしてみたり対面にしてみたり、いろんな工夫をしておりますが、やはり市の図書館には敵わないです。ですので、ホームページとか学校だよりなどで“市の図書館を使ってください”とか“足を運んでください”というのは、私達の方でも紹介しています。ただ、やはり交通手段が限られているということで、1人で行ってはいけないとか禁止はしておりますが、ご家庭の事情で子ども達が学校から帰ってきた放課後、自分達で行くのは安全面として危ないので家庭としてちょっと難しいですと言っておられる保護者の方もおりましたし、土日の時間がある時に連れて行っていますというご家庭の方もありました。 学校の事情について広く今お話をさせていただきました。
議長 (杉田職務代)	ありがとうございます。 図書館協議会の中ではありますが、なかなか子どもと本を結ぶという

理)	点で学校や読書支援員さんのご意見や実際の状況などを伺う場が他にありませんので、そのところは私は前々から一緒に、子ども達を本で育てるという立場の人間がここに集まっていると思っておりますので、そういう視点からどんどん意見、発言していただいて、またそれを受けて、図書館の方々、それから生涯学習課の方々にも今日の意見が非常に大きかったので、平委員の意見、矢上委員や三浦委員からのもっと支援員を増やしていただけたらとか、要するに子どもは毎日そこに人がいれば行くからというような、そのメッセージを強く受け止めていただきたいと思います。 よろしくお願いします。
矢上委員	資料の2ページ、通年事業の団体貸出「学級文庫」について、これは図書館が貸し出しをするのでしょうか。
事務局 (須藤館長)	何年何組とかクラス単位で毎月定期的に図書館で本を選んで貸し出す、お渡しに行くものです。
矢上委員	学校の読書支援員さんが、こういうものを今月借りたいですって言って貸していただくことはできるのですか。
事務局 (須藤館長)	そちらは次のページに記載がありまして、団体貸出は2種類ありまして、定期的に図書館の方から学校に対してある程度の図書を貸し出しますというのが学級文庫というもので団体貸出の一つなのですが、もう一つが各学校ですとか先生方からのリクエスト等に応じて、貸し出しているものがもう一つの団体貸出になります。
吉田委員	子ども達が天羽小学校に通っているんですけども、天羽小学校はおそらく月に100冊ぐらいずつ教室、教室だけじゃないですけど、学校全体で毎月本が変わっています。ですから図書館までは距離があるんですけど、本に触れていないかと言ったら全くそんなことはなくて、毎週金曜日とか週何回か必ず本を借りて帰ってくるっていう習慣があるんです。また、新しい本に全く触れていないかって言ったらそうではなくて、そこから最新の本も借りてきますし、借りてくるといとか目にしていますし、行くことができないのであれば、子ども達の本に触れる時間を増やすっていう意味では、子ども達の本へのアプローチができないことに目を向けるよりも、まず何ができるのかっていう方にシフトして、学校

	と協力してやっていった方がいいのかなと話を聞いていて思いました。 ありがたいことに、本当に毎月 100 冊ぐらい変わっていますし、子ども達も毎週本を借りて帰ってくるので、学校ではすごい仕事が大変なことも重々分かりますけれども、図書ということだけにクローズアップしたら、そこはできることなのかなと、子ども達に本を、読書をとということであれば、それができる最善なのかな、行くことができないなら本を運んでくるという方法が一番なんじゃないかなというふうに皆さんのお話を聞いていて思いました。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 せっかくですので、今日は皆さんに一言ずつでも話していただこうと思って座っております。 元図書館員の立場で永野委員から一言いただきたいと思いますが如何ですか。
永野委員	私は隣の隣の木更津市というところの元図書館職員なのですけれども、自治体によって全く図書館の立ち位置というか、あとサービスも本当にまちまちで、こちらの新しくできた図書館の図書館協議会委員となって、いつもお話を聞いているだけで過ぎていくんですけども、この地域は皆さん本当にすごく熱があるなと思っていて、木更津市は今年で 95 周年となる図書館なので、熱というものがもう冷めちゃっているのかなと、1 年やっていて感じておりまして、それをただ感心して聞いておる次第です。
議長 (杉田職務代理)	無理やり発言を促してしまいましたがありがとうございました。 大ベテランで、私も「おはなしの語りの会」とか長いことさせていただいて 20 数年になりますけれども、もっと前から学ばれている方ですので、読み聞かせの世界、図書館のことを何でも生き字引のような方ですので頼りにしております。 他に如何でしょうか。 それでは、他にご質疑等はないようですので、次の議題に移ります。 (2) 図書館アンケート (案) について、事務局より、説明を求めます。

事務局 (須藤館長)	それでは、議題（２）富津市立図書館アンケート（案）についてご説明させていただきます。 資料２をご覧ください。 図書館アンケートということで、今後の施設管理運営に利用者様、また普段あまり利用されない方からも意見を集約し、検証、反映させる目的で今年度の図書館事業として実施します。本日の会議の中で内容等について委員の皆様からご意見をいただいたのち、修正等を行いまして、12 月から 1 月中旬頃までを期間として調査をしていきたいと考えております。 調査方法については、紙を配布して記入して回収する方法とウェブによる方法の 2 パターンを考えております。 紙については、アンケート用紙を、市立図書館をはじめ、公民館などの公共施設等に置いて、来館された方に記入について協力をいただきます。ウェブについては、スマートフォンやパソコンでアンケートページへアクセスしていただき、そこで回答を入力して送信してもらいます。アンケートのページへアクセスするための「２次元コード」や「URL」を図書館や富津市のホームページ、それから広報ふつつ、区長回覧等で広く周知させていただいてご協力をいただきたいと考えております。 それではアンケートの項目についてご説明をさせていただきます。 まず、Ｑ１番ですが、アンケート回答のキーとなる項目という形になります。アンケートの回答層の分析のため、年齢、お住まい地域、性別、職業等を確認させていただいております。こちらをキーにしまして、Ｑ２番から Ｑ６ 番まで図書館や図書室の利用状況について確認をさせていただいております。 Ｑ７ 番ですが、図書館それから図書室の利用ができない方について、その理由を確認させていただいております。 Ｑ８ 番から Ｑ１０ 番は、図書館がイオンモール内にあることもありまして、その付随効果、それから交通手段について確認をさせていただいております。 Ｑ１１ 番から Ｑ１２ 番ですが、昨年度、図書館では 50 以上のイベントを行いましたけれども、そのイベントの周知方法であるとか市民の方の興味がどのようなものになるかというところを確認させていただいております。 Ｑ１３ 番は、新しくできた図書館の年間を通じての運営の評価について確認をさせていただいております。 Ｑ１４ 番から Ｑ１５ 番は、電子図書館の利用状況について確認をさせてい
-----------------------	--

	ただいております。 Q16 番は、図書館の今後の取り組みについて意見・要望等を確認させていただいて、Q17 番では全てを含めて意見・要望という形で自由に記入いただければというふうに考えております。 以上、全 17 項目を今年度のアンケート案として作成させていただいております。こちらにつきまして委員の皆様のご意見等をお聞きかせいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 以上となります。
議長 (杉田職務代理)	事務局からの説明は終わりました。 委員の皆さん、ご質疑等ございますか。 伊藤委員、どうぞ。
伊藤委員	Q1 番の年齢のところで 10 歳未満とありますので、図書館内の検索サービスにも小学生バージョンと一般バージョンが二つあるように、このアンケートも平仮名が多いバージョンを作成されたら良いのかなと思いました。 それからアンケートを実施するにあたって、一番反応が高いと思われるのは、市の公式 LINE が幅広い年齢層に届くと思うので、是非 LINE を活用してはどうでしょうかというのが私の意見でございます。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 事務局は如何ですか。
事務局 (吉村係長)	ご意見ありがとうございます。 子どもでも読めるようアンケートの文字表記の方法は検討させていただきます。また、周知方法についても広く届けられるよう SNS 等は積極的に活用します。
議長 (杉田職務代理)	他に如何でしょうか。 矢上委員、どうぞ。
矢上委員	今でも私の周りの方は君津の図書館へ行くっていう方も多いんですね。このアンケート（案）の中では、Q7 にそのような回答項目がありますが、もうちょっとこの設問を前にしてもらいたいですね。要するに、他市の図書館を使っているのはなぜなのかというところが分かった方が

	より富津市の図書館をどういうふうに工夫していくかということが出てくるんじゃないかなっていう気がしています。 もう一点、Q13の回答項目ですが「やや満足」と「やや不満」の間は作らないのか、それだと回答が偏っちゃうということがあるのですかね。
事務局 (須藤館長)	委員おっしゃるとおり、中間の回答項目を作ってしまうとそこに集中してしまうという傾向があるので、良いか悪いか選べないという心情も察するところではあるんですが、あえて除外させていただいています。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。 すみません、先ほどの伊藤委員のご意見の平仮名でという点は、このアンケートを子供向けに作った方が良いのか、それともアンケートで平仮名をもっと活用した方が良いのか、その辺の解釈を確認させていただければと思いますが。
伊藤委員	すべて平仮名という意味ではなくて、前回会議でもご説明いただいたように小学生には全員タブレットが支給されているそうなので、あとは図書館内にある図書の検索機も子供向けの平仮名が多いバージョンと一般バージョンがあるんですね。ですから、このアンケートも10歳未満という選択肢がある以上は、小学生でも分かりやすいものを作られたらどうですかというのが私の意見です。
議長 (杉田職務代理)	ありがとうございます。分かりました。 事務局の方はそれでよろしいですね。 他に如何ですか。米村委員どうぞ。
米村委員	アンケートのQ1の年齢区分ですけど、70歳以上とありますが、今は人生100年時代ですから80歳以上を入れていただきたいなと思います。逆にもっと増やしたい年齢層ではあるんですね。このアンケートは図書館にとってはすごい活きた資料になります。そうすると、例えばこのAIカメラによる来館者数、年代別の登録者数、この中に一つだけ小さいことですけど、図書館を利用する方々があの小さな図書館をフルに使って頑張ってくれている、そこに何を置いてほしいというのは、本のリクエストはわかりますよね。長いのは1か月ぐらいかかるけど、ちゃんと取り寄せてくれます。しかも新刊で数か月のものも届けてくれるんですよね。だからすごい利用価値が高い。ですが利用していない人にはちょっ

	と分からない。Ｑ６に関わるんですが、「図書館を利用する理由は何ですか」で、「２．調べ物をするため」、ここにはたくさん“○”が付くんじゃないかと思いますが、図書館側からするとジャンル、例えば「健康」とか「人生」とか分かった方がいいんじゃないでしょうか。１行くらいは増やせる余地があると思いますのでご検討いただければと思います。 私は、資料が事前送付されてきて、実際にこのアンケート（案）に記入してみたんですが、気になったのはジャンルを明確にしてもらった方が、次の図書数を増やすうえで活きた材料を取っていただきたいなと、リクエストに絡めてご検討いただきたいなと思います。その二つです。
議長 （杉田職務代理）	ありがとうございます。 事務局の方はよろしいですか。
事務局 （須藤館長）	ご意見ありがとうございます。 少し検討させていただきたいと思います。
伊藤委員	先ほど矢上委員から他市の図書館についてのお話があったのですが、それはどこからそのように思われたのでしょうか。 このアンケートに関連してでしょうか。
矢上委員	もちろんです。他市の図書館を利用している人が、なぜ富津市ではなくて他の図書館に行くのか、その理由が分かればそこは改善できるんじゃないかなというふうに思いました。 これはＱ７の回答項目にありますけど、忘れられそうな位置にちょこっと記載されているので、実際はまだまだ他市に行っている方は多いと思いますので。
伊藤委員	Ｑ７の回答項目にあったのですね。見落としていました。 ありがとうございました。
議長 （杉田職務代理）	ありがとうございます。 他に如何でしょうか。 それでは、もう一つ提案事項といいますか、実は皆さんのお手元に資料が配付されていると思いますが、事前に事務局から資料が送られてきて、皆さんお目通ししてくださっていると思いますが、それを受けて米

	村委員がこのようにまとめて本日配付してくださいました。 それがこの資料になります。ですから皆さんご一読いただく時間がなかったかもしれませんが、米村委員から是非ご説明いただければと思います。
米村委員	事務局から 10 日くらい前にアンケート（案）が送られてきて、実際に記入して気がついて、結局、非常に制限の多い富津市立図書館なんだけど、質問もいくつか出ていましたけど、世代別にどういう根拠というか要因を持って図書館利用が急速に減少して、かつ、本屋さんも少なくなっているのか。それはもちろん単純にデジタル化、スマートフォンなども非常に利用頻度が高くなっているし、極めて安い値段で売っている時代にもなっている。だから、要因を自分も知っておかなければいけないなと思って、AI に具体的に世代別に回答してくれと質問してみましたら、なるほどというものがいくつかありました。そこにアンダーラインだけ引いたんですけど、やはり世代別はこういう基本的な背景があるというか要因があって、今言った図書館に行かない、あるいは本を読まないっていうことがあるんだなというのを確認する参考資料になればいいかなと思って提出させていただきました。
議長 （杉田職務代理）	ありがとうございます。 米村委員に貴重な分析資料をいただきましたので、皆さん今後の参考としていただければと思います。 他に如何でしょうか。 ご質疑等はないようですので、本日の議題についてはこれで終了いたします。 《次第 4 その他》 次に次第 4、その他ですが委員の皆様から何かございますか。 矢上委員、どうぞ。
矢上委員	私の方から、周りから聞こえてきた要望とかいろいろ、図書館のおはなしの部屋にも時計を置いてほしいとか、そういう感じの言葉でまとめたものではないのですがお伝えさせていただきます。 まず、児童書に詳しい司書さんっているのかしらっていう言葉。 それから、他の図書館はスマホで検索ってやるとすぐに検索のページ

に移るらしいんですけど、富津市のは1段階とか2段階を経て検索ができる感じのようですね。他の図書館を使っている人はそういう差が分かるみたいでそのような言い方をしていました。

それからイベントを検索していくと、そのページを更新した日、更新日が表示されていて、その日にちは当然にイベントの日より前になっていますが、なんかイベントがもう終わっているのかなみたいな見え方がして、ページを開くとちゃんとした日にちが出てくるんですけど、何か更新日と違ってというのが紛らわしいねっていう意見です。

それから「読み聞かせボランティア研修」ですが、去年とても良かったですけど、対象が経験者に限定していて、やはり一般の方にも声をかけてほしいというお話でした。

それから、先ほど図書館スタッフが親切という話がありましたけれども、私も尋ねた時にとっても親切にいただいたことがあるんですけど、お子さんが聞きに行った時、小学3年生か4年生ぐらいの子が聞きに行ったら、“その右を曲がって”というような案内だったそうです、私は尋ねた時にその場所まで連れて行ってもらったりとか、他の図書館でもそういうことがあって、大人だったらそこで終わってもいいかもしれないけど、子どもに対してそれはどうなんだろうかと。とても忙しそうにしていた日ではなかったので、ちょっとそれがその子のお母さんはショックだったというので、何かその辺は周知していただかないと、たった1人の子どもですけど、なんか気持ちが萎えちゃいますので、その辺は気にしてお願いをしたいなと思います。

もう一点、私は図書室の利用がすごく多いんですけど、図書館と違うのは今日も持ってきているんですけど、このカバーの後ろに帯が貼ってあるんです。こういう手作業の感じが他の図書館にはあり得ないし、大きな図書館ではもっとあり得ないんですけど、そういう図書室が私は大好きです。図書館も新刊が入ってくるのでいいですけど、おそらく図書館の予算と図書室の予算は違うのかと思いますが、図書室は大人の新刊、子供の新刊は入ってきますけど絵本が古いんです。やはり、いい絵本は何がいいかというと、やはり富津市の司書さんがとてもこれはいいですよと選んでくれたもの、とてもいい絵本がいっぱいあって、でも古いのが多いですね。だからそれって他の施設と交代できたりしないのかしらとか、そういう声もありましたので、ちょっと図書室の絵本を新しくしていただけると嬉しいなという感じです。

議長 (杉田職務代理)	一つ質問ですが、古いというのは年代が古いのか、本自体が古いのか、どちらでしょうか。
矢上委員	本自体が古くて汚くなっている。 図書館の本が綺麗すぎて全部光っているから。
議長 (杉田職務代理)	やはり本が古いと、子どもは古典の傾向のものには手を出さないという場面がよく見られています。 そこを具体的に言ってくださって分かりやすいです。 ありがとうございます。 他に委員の皆様から何かございますでしょうか。 ないようであれば、事務局から何かありますか。
事務局 (吉村係長)	次回の会議についてですが、今年度は会議を3回予定しておりまして、次回の第3回は来年3月を予定させていただきます。 詳細な日程については、あらためて通知等をメールで送付させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。 事務局からは以上でございます。
議長 (杉田職務代理)	それでは、以上をもちまして、すべての議事を終了といたします。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しします。
事務局 (篠田課長)	杉田委員、ありがとうございました。 また、委員の皆様におかれましては、本日はたくさんの貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。 今後、図書館、生涯学習課の方で検討させていただきまして、改善できる部分是对应させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 以上をもちまして、令和6年度第2回富津市図書館協議会を閉会といたします。お疲れ様でした。